

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	13	
事業名	消防施設経費	会計	款	項	目
		一般	9	1	3
施策	1	安全・安心なまち	課名	環境防災課	
	1-1	安全・安心のまちをつくる	係名	危機管理室	
	1-1-1	消防・防災対策の充実			
主要施策	④常備消防・救急体制の充実				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。
事業内容	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。 町内全域に70基の防災行政無線子局、防災ラジオ(有償配付)を配備し、住民に災害への注意を呼びかけている。 約900基の消火栓ボックスを町内全域に設置し、消火栓の維持管理を町上下水道課へ委託、消火栓ボックスについては、自治会・自治会自主防災組織による点検を実施している。また、平成21年度からは取り替え作業についても自治会へ移管し、自治会・行政の協働による消防力の強化を進めている。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)		
	1	防災ラジオの有償配付数	5,439	5,482	5,514	台	↑	5,500	
2									
3									
4									
5									
			平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(予算)				
全体事業費(千円) A+B				5,084	15,273	131,663			
財源内訳	直接事業費 A				5,084	12,693	129,083		
	うち一般財源				5,084	12,693	10,144		
人件費(千円) B				0	2,580	2,580			
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.38	2,508	0.38	2,508
	臨時職員(人・千円)				0	0.04	72	0.04	72

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善(事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	火災や災害発生時に必要な無線機器の更新
②R1年度に実施した取り組み	大木地内防火水槽移設及び改修工事 消防防災無線の保守点検など適切な維持管理のほか、劣化した消火栓等の路面表示の修繕	④今後の改善計画	火災発生時に重要な、消防水利の維持管理及び無線機器のデジタル化。